

2019年10月2日

公益社団法人日本技術士会 近畿本部 経営工学部会 10月度「部会+研修会」のご案内

日本技術士会 近畿本部 経営工学部会 部会長：間島 勝彦
同上 副部会長 担当幹事：荒井 一彦
同上 担当幹事：山口 誠

平素は、近畿本部経営工学部会活動に参加・ご協力いただき有り難うございます。令和元年度10月度の部会・研修会を下記要領にて開催致しますので、各位のご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

－ 記 －

日時 2019年10月19日(土) 13:30～17:00
開催場所 日本技術士会 近畿本部 会議室 近畿富山会館ビル2階 TEL:06-6444-3722

1. 開会挨拶(13:30～13:35) 間島部会長
2. 新会員の自己紹介(13:35～13:40) 司会 担当幹事
3. 研修会 (13:40～15:20、講演70分 質疑応答30分)

- ・演題:「琵琶湖の水を経営工学する～環境保全も部分最適から全体最適へ」
- ・講師:吉田和弘 技術士補(経営工学部門) 環境計量士 株式会社日吉 技術部
- ・概要:

琵琶湖は、面積・貯水量ともに日本一の湖であり、京阪神地域1,400万人の貴重な飲料水源であります。しかしながら、70s～80sの高度経済成長と生活様式の近代化に伴い、急激に水質汚濁が進み、生態系が大きく破壊されてしまいました。その反省から、厳しい水質基準を設け、様々な技術革新を経て、琵琶湖への流入水(河川水)の水質は大きく改善されました。にも拘わらず、琵琶湖自体の水質と生態系は依然回復されないままです。
持続可能な環境・社会について、経営工学的な視点で皆様と考えてみたいと思います。

－ 休憩(15:20～15:30) －

4. ショートレクチャー (15:30～15:55、講演15分 質疑応答10分)
 - ・演題:「太陽光発電システムの概要と環境問題について」
 - ・講師:渡部正人 技術士(経営工学部門) 日新電機株式会社
 - ・概要:
2012年に始まった 再生可能エネルギーの固定価格買取制度。この間、太陽光発電市場は急速に成長。施行から7年目を迎えるが、2021年度を目途に新設の大規模な事業用太陽光発電を買取対象から除外することが決定した。これからの太陽光発電市場はどのような歩みをとるのか? 太陽光発電システムの過去・現在の課題点を明らかにし、環境アセスメントを含めた将来に亘る展望についてもふれる。
5. 先輩技術士からの近況活動報告 (15:55～16:10 16:10～16:25)
 - ・新庄秀光技術士
 - ・増田武司技術士
6. 部会活動報告及び諸連絡事項 など (16:25～16:50)
7. 閉会挨拶(~17:00) 担当幹事

参加費： ¥1,000円、当日会場にて徴収させていただきます。

申込期限： 2019年10月11日(金)までにまでに下記連絡先までお申込み下さい。

連絡先： 荒井一彦 副部会長(kazuhiko_arai@k7.dion.ne.jp)

以上